

2026 谷地南部小グランドデザイン

- 日本国憲法 ○教育基本法
- 学校教育法 施行令・施行規則
- 社会教育法
- ◎学習指導要領 2020～

生きる力、①生きて働く知識・技能②未知に対応できる思考・判断・表現力③学びに向かう力・人間性の涵養の3つの柱の育成

主体的・対話的で深い学びの実現
社会に開かれた教育課程、カリキュラムマネジメント

- ◇令和の日本型学校教育
- 個別最適・協働的な学び

＜学校教育目標（二年度）＞
ふるさとを愛し、未来をしなやかに生き抜く谷地南部っ子の育成

＜経営キーワード（一部新規）＞

言葉：言葉遣い・言語力（読む・聞く・書く・話す・話し合う）向上
自立：自ら考え判断し実践・粘り強く協働的解決・新たな課題追究
連携：保護者・園や他校・関係機関

- 第3期教育振興基本計画
- 第4次山形県総合発展計画
- 第7次山形県教育振興計画（前期）
「ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり」
- 第2次河北町教育振興計画
「ふるさとに学び、互いに高め合いながら、いきいきと未来をひらく人づくり」
～ 人輝き ひらく未来 ～

＜培いたい資質・能力（継続）＞

- 自己の学びを調整し、粘り強く追究する力（知）
- 他者を思いやり、協働する力（徳）
- 自己を見つめ、挑戦する力（体）
- 地域の魅力を知り、発信する力（愛）

＜経営の重点＞

「深い学び」(知)

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現
- ② 個に応じた指導支援の充実と基礎基本の確実な定着
- ③ 授業と家庭学習の接続・個別最適な家庭学習の推進

「豊かなかかわり」(徳)

- ① 居心地の良い学級作り
- ② 多様なかかわり
- ③ 不登校、いじめ、問題行動等の未然防止

「いのち最優先」(体)

- ① 自ら考え行動できる安全教育・防災教育
- ② 健康増進・遊びの奨励による体力作り
- ③ Withメディアと生活習慣

「愛校心と郷土愛」(愛)

- ① 学校の魅力再発見・探究
- ② 園児・他校児童との交流
- ③ 地域の「ひと・もの・こと」との触れ合い

P ＜目標・計画＞

P-D-C-A

各学年・学級の
教育活動

めざす子ども像

- 深く考える子ども
・学ぶ意欲と挑戦
・粘り強く解決・創造
- 心豊かな子ども
・多様性を認め、他者を思いやる
・互いに励まし高め合う
- 健康な子ども
・心身ともに健康
・明るく元気
- ふるさとを愛する子ども
・学校の魅力再発見・探究
・地域素材との触れ合い

幼児教育との連携・接続

- ① 育ってほしい10の姿・スタートカリキュラム共有
- ② 園児と児童の交流
- ③ 相互参観並びに研修

家庭の協力

- ① 講師・学習ボランティアとしての児童とのかかわり
 - ② 自立のための生活習慣形成（メディアとの関わり等）
 - ③ 自立に向けた家庭学習習慣（個別最適な学び）
- ☆自立を見守る・安らぎの場

河北町教育委員会ほか関係機関

子育て支援・家庭教育の充実

A ＜改善・方向性＞

D ＜実行・実践＞

D-C-A-P

中心的学校行事

めざす教職員像（働き甲斐・生き甲斐）

- 心身共に健康で、児童と笑顔で向き合う
- 人間的魅力に溢れ、向上心を持つ
- 児童につけたい力の明確化・自立・協働
- 学校と地域の魅力を語り、共に歩む

☆「学びカフェ」を拠点とした研修・発信

【学校研究】

「主体的・対話的で深い学び」の具現化
基礎基本の確実な定着、個別最適な家庭学習

【カリキュラム・マネジメント】

校長カリマネ ⇒ 学年カリマネ
・資質能力の育成

【特別活動・道徳教育・人権教育】

・主体的かつ自治的活動・規範意識

【「支える」生徒指導の充実】

・より良い生き方

【「溶け合う」特別支援教育の充実】

・個に応じた指導支援、教育相談

C ＜評価・研究＞

【地域学校協働本部】との連携による活動推進

学校運営協議会【コミュニティ・スクール】

- ◎ 地域社会とつながる子どもの育成（コミュニティ・スクール5年次）
- ◎ 緩やかなネットワーク作りと地域が元気になる谷地南部小コミュニティ

「育てたい谷地南部っ子」を視点とした学校・保護者・地域の願いの共有
地域活性化に貢献できる学校経営の在り方検討

めざす地域の姿

安心・安全・元気な 地域
豊かな学びを提供する地域
児童の成長を見守る 地域

連携・
協働

